

第4節 衛 生 関 係

1 保健衛生

(1) 保健衛生総務

ア **保健衛生一般事業** 29,616,821円

(ア) 佐伯地区医師会事業補助金 2,772,000円

(イ) 精神障害者保健福祉手帳交付者数 (単位：人)

級	1級	2級	3級	計
延人員	89	511	138	738

(ウ) 自立支援医療(精神通院)受給者証申請・交付業務

平成21年度新規認定・再認定件数 1,420件

(エ) 産科医等確保支援事業補助金 9,565,000円

産科医等の処遇改善を図るため、分娩を取り扱う医療機関が産科医師に対し支給される分娩手当てを支援した。

イ **原爆被爆者援護事業** 121,000円

原爆被爆者の援護事務は県の委任事務であるが、その援護事務の状況は次のとおり。

(ア) 被爆者援護法による健康診断

健康診断の区分は以下のとおり

1. 一般検査 2. がん検査 3. 精密検査 4. 被爆者特別検査

(イ) 被爆者援護法による申請

被爆者で原子爆弾の障害作用の影響を受け、今なお疾病の状態にある人に対して、生活福祉の向上を目的に各種の手当制度が講じられた。

(単位：人)

被爆者数 (健康診断受診者を含む)	手 当 支 給 者 数					合 計
	医療特別手当	特別手当	健康管理手当	保健手当	介護手当	
5,518 (5,533)	139	29	4,785	205	39	5,197

(H22. 3. 31 現在)

ウ **第二次救急医療運営事業** 24,226,900円

地域住民の救急医療及び医療供給体制の確保のため、厚生連広島総合病院が行う休日又は夜間における入院治療を要する重症患者医療の運営費(人件費)について広島西二次保健医療圏内の自治体が支援した。

病院群輪番制病院運営事業補助金 23,630,900円

エ **在宅当番医制運営事業** 3,435,000円

初期救急医療の確保及び救急医療知識の普及啓発を推進するため、医師会に在宅当番医の調整と実施及び救急医療の普及啓発事業を委託した。

在宅当番・救急医療情報提供実施事業委託料(佐伯地区医師会 内科以外の診療科 休日) 3,315,000円

年末年始歯科在宅当番医制運営業務委託料 120,000円

(佐伯歯科医師会 廿日市市域の歯科医 12/30・31、1/2・3)

オ **広島総合病院設備整備補助金** 26,850,000円

広島西二次保健医療圏の中核病院である厚生連広島総合病院の設備整備に伴い、広島西二次保健医療圏内の2市が支援した。

広島総合病院設備整備補助金 26,850,000円

カ **広島総合病院助産師等育成助成事業** 2,206,401円

産科医療体制を確保するため、広島総合病院が行う助産師、看護師確保事業に対し、支援した。

広島総合病院助産師等育成費補助金 2,206,401円

キ **宮島診療所設備整備事業**

5,202,750円

宮島診療所医療機器等購入費 超音波画像診断装置 4,987,500円
 高圧蒸気滅菌器 215,250円

(2) 予防

ア **感染症予防事業**

14,995,065円

新型インフルエンザの発生時における感染防止対策として、予防策の啓発に努めとともに予防に必要な物品を購入し、手消毒剤を市内施設に配付した。

予防対策物品（防護服・マスク・手消毒剤）の購入 11,865,104円
 広告印刷費 462,000円
 広告折込費 231,069円
 休日・夜間診療所待合用プレハプリース料 2,394,000円

イ **予防接種事業**

148,732,896円

予防接種法に基づき集団接種・個別接種方式で実施している。個別接種については、佐伯地区医師会等に委託して行った。BCG予防接種は、平成20年度から接種方法を集団接種から個別接種に変更した。

また、麻疹・風疹（混合）予防接種は、平成20年度から5年間に限って、3期・4期を実施している。

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
委託料(円)	56,800,128	55,977,230	78,525,080	97,455,541	94,666,200

※ 委託料は、審査支払業務委託料を含む。

種別	延接種者数(人)	対象者	会場及び接種方法
ポリオ	1,738	生後3か月～90か月未満	個別接種
BCG	930	生後3か月～6か月未満	
法定外BCG	11	生後6か月～12か月未満	
三種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風)	3,903	1期 生後3か月～90か月未満	
	784	2期 11～13歳未満	
麻疹	0	1期 1～2歳未満	
	0	2期 小学校就学前1年間	
	1	3期 中学1年に相当する年齢	
	5	4期 高校3年に相当する年齢	
風疹	0	1期 1～2歳未満	
	0	2期 小学校就学前1年間	
	1	3期 中学1年に相当する年齢	
	14	4期 高校3年に相当する年齢	
麻疹・風疹(混合)	830	1期 1～2歳未満	
	948	2期 小学校就学前1年間	
	957	3期 中学1年に相当する年齢	
	913	4期 高校3年に相当する年齢	
日本脳炎	3,389	1期初回: 生後6～90か月未満	
		1期追加: 生後6～90か月未満	
		2期: 9～13歳未満	
インフルエンザ	15,474	65歳以上	
	15	60歳以上 65歳未満で指定した障がい者を有する者	

※ 日本脳炎については、平成17年5月30日厚生労働省より接種差し控えの勧告があった。

ウ 狂犬病予防事業

1,732,132円

狂犬病予防法に基づき犬の登録及び狂犬病予防注射接種事務を実施した。

登録数（年度末現在） 7,566頭（新規登録頭数583頭）
 狂犬病予防注射件数 5,606件（うち市指定動物病院での予防注射件数3,312件）
 狂犬病予防注射等収納事務委託料（社団法人広島県獣医師会佐伯支部） 993,600円

(3) 母子保健

親と子の健康づくり、疾病予防、子育て支援等を目的として、妊産婦、乳幼児、学童期・思春期の子ども等、各年代の特性や課題に対応した事業を実施した。また、主任児童委員、母子保健推進員による訪問等の子育て支援を実施した。また、妊婦一般健康診査の助成（受診券）が5から14枚に増加した。

妊婦、乳児等健康診査業務委託料（審査支払業務委託料を含む。） 78,518,160円

ア 母子保健事業

90,128,930円

(7) 健康教育事業

a ときめきマイライフ

高校生を対象に、この時期特有の身体や性の悩み、不安等に対応して、性感染症や避妊等の保健知識や健康づくりの普及・啓発を目的に佐伯地域で実施した。

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
回数(回)	3	2	2	1	1
延参加者数(人)	460	287	346	124	124

b マタニティスクール・パパママスクール

廿日市保健センターで、妊娠・分娩・出産・育児に関する知識の普及と情報交換、父親の育児参加を目的として、平成21年度は11回実施した。

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
妊婦延参加者数(人)	279	272	189	129	140
夫・その他延参加者数(人)	83	85	75	53	33

c 育児教室

1歳6か月児健診の結果、継続的な指導が必要な親子等に対して、遊びの体験学習を通して幼児の発達を促すため実施した。また、発達相談員による個別相談も併せて実施した。

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
回数(回)	28	44	36	36	46
延参加組数(組)	279	532	244	291	348
個別相談参加組数(組)	13	34	28	53	49

d 離乳食講座

離乳食についての知識の普及と情報交換を目的に廿日市地域と大野地域で実施した。

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
回数(回)	4	4	4	6	6
延参加者数(人)	107	81	82	95	88

e お母さんのためのグループ

廿日市保健センターで、育児不安や困難感から回復を図ることを目的に保護者のグループカウンセリング事業を実施した。

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
回数(回)	12	12	12	12
延参加者数(人)	23	34	46	71

f 4か月児健診未受診者訪問事業

4か月健診の未受診者を対象に主任児童委員が訪問して子育て情報を提供し、育児状況を把握した。

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
未受診者数(人)	17	39	12	37
訪問件数(人)	23	36	46	34

g 食物アレルギー・アトピー教室

大野福祉保健センターで、食物アレルギーやアトピーの子どもの保護者を対象に行い、当事者同士の悩みを共有し、情報交換会を行った。うち、1回アレルギー専門医を交えて座談会を開催した。

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
回数(回)	4	6	6	7
延参加者数(人)	33	85	78	52

(i) 母子健康管理事業

a 母子健康手帳交付

妊婦に対して、妊産婦・乳幼児の健康の保持増進を目的に交付し、平成15年度から父親の子育て参加の啓発を目的に、第1子妊娠届出者に父子健康手帳も併せて交付している。

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
母子健康手帳交付件数(件)	862	1,007	874	987	999

※ 双子、再交付数を含む。

b 妊婦・乳幼児健康診査

疾病の早期発見と発達状況の把握のため実施した。

(a) 集団健康診査

育児支援強化事業として、1歳6か月児及び3歳児健康診査に保育士1名を配置し、子育ての楽しさや子どもとの関わり方等の理解を深める目的で遊び方の指導を行うとともに、親子の様子を観察し虐待兆候を発見していくために実施した。

また、4か月児健康診査では、乳児の頃から本に接する機会をつくり、絵本を媒体として親子のコミュニケーションを豊かに育み、子育て支援をすることを目的としてブックスタート事業を実施した。

種別	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
4か月児健康診査	963	887	92.1
1歳6か月児健康診査	908	817	90.0
3歳児健康診査	1,009	856	84.8

(b) 個別健康診査

母子健康手帳交付時に受診券を交付し、医療機関委託により実施している。なお、平成21年度から妊婦一般健康診査受診券の交付枚数を5枚から14枚に増加した。

種別	妊婦健康診査		乳児一般健康診査
	一般健康診査	子宮頸ガン検査	
受診者数(人)	12,364	906	1,569

※ 妊婦一般と乳児は延受診者数を表す。

(ii) 訪問指導

a 家庭訪問

妊産婦・乳幼児の家庭を訪問し、生活状況を把握しながら、家族計画・育児等に関することなどの相談に応じて指導した。

対象者 ハイリスク妊婦（若年・妊娠中毒・高齢などの条件で必要な人）

第1子・低出生体重児・多胎児等を出産した産婦及び乳児

その他訪問指導の必要な人及び希望者

（単位：人）

	妊産婦	乳児	幼児	その他	合計
平成21年度	378	408	64	9	859

※ 延訪問者数を表す。

b こんにちは赤ちゃん事業

母子保健推進員等による生後4か月以内の児がいる家庭の訪問を実施した。平成21年度 906件

(エ) 相談事業

育児相談

内 容 身体計測・相談（発達・しつけ・栄養等に関すること）

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
延相談者数（人）	1,537	2,015	2,630	1,719	1,478
ミニ講座延参加者数（人）	334	—	78	—	—

(4) 健康増進事業

健康で生きがいのある生活を送るため、健康づくりの3要素である栄養・運動・休養の観点から個人の生活習慣に着目し、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療・体力向上などを目的とした事業を実施した。

がん検診等業務委託料 31,012,903円

機能訓練事業委託料 5,847,600円

廿日市市食生活改善推進員連絡協議会補助金 275,200円

ア **健康増進事業**

54,166,167円

(ア) 健康教育事業

集団健康教育

内 容	回 数（回）	延参加者数（人）
歯 周 疾 患	2	57
骨 粗 し ょ う 症	2	14
病態別（疾患別健康教室など）	6	72
一 般	386	2,241
薬	0	0
計	396	2,384

(イ) 健康管理事業

a 健康手帳の交付

健康の保持増進のために、健康の記録を記載し、自己の健康管理に役立てるために手帳を交付した。

老人保健法医療受給者及び健診や健康相談等の保健事業利用者に交付している。

交付区分	件数（件）
75歳になる人	30
40歳以上	228

※再交付数を含まない。

b 健康診査

生活習慣病の早期発見・早期治療のため、佐伯地区医師会、広島県健康福祉センターに委託して実施した。

(a) がん検診・C型・B型肝炎ウイルス検査（女性特有のがん検診での受診者は含まない。）

子宮頸がん検診は20歳以上、その他のがん検診等は40歳以上を対象に実施した。

		年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
受 診 者 数 (人)	胃 がん 検 診		1,919	2,069	2,126	2,041
	子 宮 がん 検 診		1,606	1,606	1,668	1,799
	乳 がん 検 診		1,056	1,173	1,248	1,295
	肺 がん 検 診		3,300	3,518	3,304	2,850
	大 腸 がん 検 診		3,136	1,803	3,364	3,123
	C型・B型肝炎ウイルス検査		1,020	488	578	545
委 託 料 (円)			51,157,094	45,323,984	31,012,903	28,829,739

(ウ) 健康相談事業

a 重点健康相談

高血圧・脂質異常・糖尿病・歯周疾患・骨粗しょう症・その他病態別の健康相談を実施した。

回 数 68回 延参加者数 1,548人

b 総合健康相談

病態別など内容を特定しない一般的な健康相談であり、心身の健康に関する総合的な指導、助言を行った。

回 数 179回 延参加者数 394人

(エ) 訪問指導事業

保健師が家庭を訪問し、個々の状況に配慮しながら具体的に家庭生活の中で実践できる療養方法・看護方法・機能訓練方法等を指導した。

(延人員 単位：人)

	40歳～64歳
要 指 導 者 等	97
個別健康教育対象者	82
閉じこもり予防	34
介護家族者	30
寝たきり者	6
認知症の者	118
そ の 他	40

(オ) 機能訓練事業

脳卒中の後遺症等で心身の機能が低下している人に、必要に応じて日常生活の自立を助けるための訓練や、参加者同士の交流を通して仲間づくりを援助している。

社会福祉法人西中国キリスト教社会事業団(廿日市地域)、社会福祉法人佐伯さつき会(佐伯地域)及び社会福祉法人いもせ聚楽会(大野地域)に事業委託し、実施した。

年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
回 数 (回)	193	146	144	88
参加者数 (人)	1,195	825	866	500
委 託 料 (円)	7,086,937	5,445,000	5,847,600	3,300,000

(カ) 健康づくり推進員事業

健康づくりの3要素である栄養・運動・休養の普及を図り、地区の健康づくり事業を展開する健康づくり推進員を委嘱し、資質向上のための研修を行った。

a 健康づくり推進員数

食生活改善推進員(45人)、保健運動委員(37人)

b 資質向上研修

回 数 8回 延参加者数 216人

イ 後期高齢者保健事業

3,537,043円

後期高齢者に対して生活習慣病などの早期発見のため、健康診査を実施した。

実施回数 (回)	受診者数 (人)	健診委託料 (円)
41	596	2,829,584

(5) 環境衛生

ア 環境衛生一般事業

14,755,332円

生活環境を清潔にし、健康で快適な家庭生活と明日への生活意欲を増進するため、住みよい都市環境づくりに努めた。

(7) 道路、河川、下排水路等の清掃

多くの市民の協力を得て実施された市内一斉清掃で集められたごみを収集した。

市内一斉清掃でごみ収集運搬に要した経費 1,673,280円

(4) 公衆衛生推進協議会

環境衛生・廃棄物対策等に関する事業を展開している公衆衛生推進協議会に対して補助金を交付した。

廿日市市公衆衛生推進協議会に対する補助金 800,000円

廿日市市佐伯公衆衛生推進協議会に対する補助金 430,000円

廿日市市吉和公衆衛生推進協議会に対する補助金 160,000円

廿日市市大野公衆衛生推進協議会に対する補助金 800,000円

廿日市市宮島公衆衛生推進協議会に対する補助金 251,000円

(7) アルゼンチンアリ対策広域行政協議会

アルゼンチンアリについて、関係自治体で連携して、住民向けの防除マニュアルの作成を行うため、モデル地区において住民参加による一斉防除試験を行った。

アルゼンチンアリ対策広域行政協議会負担金 1,805,819円

イ 生活衛生監視事業

104,053円

旅館、理・美容所、クリーニング所等の生活衛生関係営業施設において、市民が衛生的なサービスを受けられるよう、施設に対する監視・指導を実施した。

	施設件数	新規施設件数	廃止施設件数	立入検査件数	処分等件数
旅館業	62	6	7	40	35
興行場	2	0	0	1	0
公衆浴場	37	7	5	16	14
理容所	91	2	2	32	27
美容所	131	2	6	51	45
クリーニング所	95	2	5	36	34

ウ 霊峯苑管理運営事業・西浄苑管理運営事業

81,337,496円

火葬場（霊峯苑・西浄苑）の運営及び維持管理を行った。

(7) 利用状況

火葬件数 霊峯苑受付分 2,077件 (うち人体 949件)

西浄苑受付分 13件 (うち人体 13件)

合計 2,090件 (うち人体 962件)

(4) 歳入・歳出の状況

【歳入】 (単位：円)

	霊峯苑	西浄苑	合計
霊峯苑使用料・西浄苑使用料	13,974,000	97,500	14,071,500

【歳出】 (単位：円)

	霊峯苑	西浄苑	合計	
燃料費	6,164,892	52,650	6,217,542	
光熱水費	5,871,581	139,767	6,011,348	
設備修繕料(備品、機械)	340,200	1,050,000	1,390,200	
事務事業委託料	火葬業務	27,972,000	714,000	28,686,000
	保守点検等	4,049,723	163,956	4,213,679
維持補修費	単独事業	11,865,000	0	11,865,000
	国庫補助事業	19,015,500	2,625,000	21,640,500
消耗品費等	1,313,227	0	1,313,227	
合計	76,592,123	4,745,373	81,337,496	

(6) 環境保全対策

ア 環境管理事業

15,384,422 円

(7) 大気水質等分析調査

環境基準の達成状況及び現況把握のため、市内各所で環境調査を行った。

大気水質等分析業務委託料 7,560,000 円

(イ) ダイオキシン類環境調査

環境ホルモンの一つであるダイオキシン類の環境調査を行った。

ダイオキシン類環境調査業務委託料 5,985,000 円

(ウ) 公害苦情の処理

市民からの公害関係に関する苦情相談に対応した。

公害苦情処理件数

大気汚染(野焼きを含む)	25件	(30.1%)	騒音・振動	9件	(10.9%)
悪臭	8件	(9.6%)	水質汚濁	13件	(15.7%)
土壌汚染	2件	(2.4%)	その他	26件	(31.3%)
			計	83件	

イ 生活排水対策事業

14,141,000 円

小型合併処理浄化槽の普及を促進するため、くみ取り便所又は単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換する者に対し、補助金を交付した。

設置実績	廿日市地域	佐伯地域	吉和地域	大野地域	宮島地域	合計
5人槽	7基	10基	0基	2基	0基	19基
7人槽	6基	16基	0基	0基	0基	22基
10人槽	0基	1基	0基	0基	0基	1基
合計	13基	27基	0基	2基	0基	42基
補助総額	4,256,000 円	9,266,000 円	0 円	592,000 円	0 円	14,114,000 円

ウ 環境都市創造事業

2,105,349 円

「廿日市市環境基本計画」の主体別行動計画に基づき、環境や人にやさしいまちづくりを推進した。また、「海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち」を実現させるため、「廿日市市環境都市宣言」を行い、その普及啓発に努めた。

小学生を対象とした環境学習(水辺教室、地球温暖化防止教室)の開催 162,500 円

エコサポーターズクラブ環境講座の開催	499,800 円
環境映画上映会の開催	590,931 円
環境都市宣言チラシ等の作成	311,850 円

エ **新エネルギー等導入促進事業** 6,297,592 円

低炭素社会の実現に向けて、電気自動車を公用車として導入し、啓発効果の高い宮島へ配備した。また、地球温暖化防止に向けた先進的取り組みとして、「市役所本庁舎・文化センター」へ太陽光発電システムを整備するため、実施設計を行った。

電気自動車の導入	4,938,262 円
庁舎・文化センター太陽光発電システム整備工事実施設計	1,260,000 円

(7) 診療所

ア **休日・夜間急患診療所管理運営事業** 64,130,805 円

休日・夜間急患診療所において、休日及び夜間における急患の診療を確保する。

開設日 平成 14 年 4 月 1 日
 診療科目 内科 (15 歳以上)
 診療時間 休日 9:00~22:00
 夜間 19:00~22:00

		年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
休日昼間 (9:00~18:00)	開設日 (日)		72	73	78
	受診者 (人)		2,591	2,663	3,164
休日夜間 (18:00~22:00) 平日夜間 (19:00~22:00)	開設日 (日)		365	365	365
	受診者 (人)		3,174	3,246	4,278
合 計	開設日 (日)		365	365	365
	受診者 (人)		5,765	5,909	7,442
受診者住所 (市内・市外別)	市内		4,630 (80%)	4,612 (78%)	5,614 (75%)
	市外		1,135 (20%)	1,297 (22%)	1,824 (25%)
使用料及び手数料収入 (歳入) (円)			48,707,428	50,632,313	66,680,566
総 事 業 費 (歳出) (円)			51,309,836	53,398,239	64,130,805

イ **吉和診療所管理運営事業** 63,789,010 円

吉和地域における初期の医療を確保する。

診療科目 内科 (平成 15 年 4 月 1 日常設化)・歯科
 診療時間 内科 9:00~17:00
 歯科 9:00~15:00

		年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
内 科	開設日 (日)		218	214	215
	受診者 (人)		5,330	5,727	5,631
歯 科	開設日 (日)		79	80	79
	受診者 (人)		542	406	375
使用料及び手数料収入等 (歳入) (円)			57,597,389 (内訳)	55,383,740 (内訳)	54,999,094 (内訳)
			内科 54,846,254 歯科 2,751,135	内科 53,318,438 歯科 2,065,302	内科 53,081,367 歯科 1,917,727
総 事 業 費 (歳出) (円)			62,974,857	64,312,866	63,789,010

2 清掃

(1) 清掃総務

一般家庭、事業所等から排出される一般廃棄物の適正な収集及び処理を行うため、一般廃棄物処理実施計画を定め、各家庭、各事業所及び廃棄物処理業者への指導徹底を図り、ごみの減量化、資源化及び適正処理に努めた。

ア 清掃一般事業

9,475,480 円

日曜清掃で集められたごみを収集した。

不法投棄を未然に防止するため、不法投棄が特に多い場所を中心にパトロール車による巡回監視を行った。

また、大型ごみ処分手数料納付事務を事業所に委託し、市民の利便性を考慮した。

町内会清掃等収集運搬料	2,605,050 円
廃棄物不法投棄防止監視事業委託料	1,071,180 円
大型ごみ処分手数料納付事務委託料	2,890,843 円

イ ごみ減量化促進対策事業

6,027,860 円

市民一人ひとりのごみ問題に対する知識を深め、ごみに関する減量化、資源化意識の高揚を図るため、リサイクルフェスタはつかいち等の啓発事業を開催した。

資源回収交付金	4,523,215 円
生ごみ処理機購入費補助金	260,000 円
生ごみ堆肥化容器購入費補助金	145,540 円
リサイクルフェスタはつかいち事業委託料	761,350 円

(2) 塵芥処理場

ア 塵芥処理場管理運営事業

1,393,214,328 円

廿日市地域のごみ処理事業については、燃やせるごみは、1日 102 t の処理能力をもつエコセンターはつかいちのごみ固形燃料（RDF）製造施設で固形燃料として資源化し、それを福山市にある福山リサイクル発電株式会社の発電施設で発電用燃料として使用した。大型ごみ・小型及び複雑ごみは、1日 35 t の処理能力をもつエコセンターはつかいちの粗大ごみ処理施設で分別・破碎後、資源化した。資源ごみは、1日 24.2 t の処理能力をもつリサイクルプラザで選別を行い、資源化した。埋立ごみは、廿日市市一般廃棄物最終処分場に埋め立て、ここから発生する汚水は、併設の浸出水処理施設において浄化処理した。有害ごみは、全国都市清掃会議指定の専門業者に委託し、処理を行った。

佐伯・吉和地域のごみ処理事業については、燃やせるごみは、1日 15 t の処理能力をもつ廿日市市佐伯クリーンセンターで焼却処分を行った。大型ごみは、廿日市市大野清掃センターの粗大ごみ処理施設で分別・破碎後、資源化又は焼却処分した。資源ごみは、紙・古繊維類は廿日市市佐伯クリーンセンター、その他の物はリサイクルプラザで選別を行い資源化した。埋立ごみは、廿日市市佐伯一般廃棄物最終処分場に埋め立て、ここから発生する汚水は、併設の浸出水処理施設において浄化処理した。有害ごみは、全国都市清掃会議指定の専門業者に委託し、処理を行った。

大野地域のごみ処理事業については、燃やせるごみは、1日 60 t の処理能力をもつ廿日市市大野清掃センターで焼却処分を行った。大型ごみは、1日 13 t の処理能力をもつ併設の粗大ごみ処理施設で分別・破碎後、資源化又は焼却処分した。資源ごみは、リサイクルプラザで選別を行い、資源化した。埋立ごみは、廿日市市佐伯一般廃棄物最終処分場に埋め立てた。有害ごみは、全国都市清掃会議指定の専門業者に委託し、処理を行った。

宮島地域のごみ処理事業については、燃やせるごみは、廿日市市大野清掃センターで焼却処分を行った。大型ごみは、廿日市市宮島清掃センターの粗大ごみ処理施設で分別・破碎後、可燃性のは廿日市市大野清掃センターで焼却処分し、金属類は、資源化した。資源ごみ・小型及び複雑ごみ・有害ごみは、リサイクルプラザへ運搬した。埋立ごみは、廿日市市宮島一般廃棄物最終処分場で埋め立てた。

以上、ごみ処理を円滑かつ適正に行うため、処理施設を適宜整備するとともに、減量化、資源化に努めた。

